

JCI プレキャストコンクリート製品の設計と利用研究委員会 第1回幹事会議事録

開催日 2007年5月24日(木) 15:00~17:00

場所 JCI 会議室

出席者 万木正弘、国府勝郎、北辻政文、月永洋一、中田善久 (欠席者:久田 真)

記録者 月永洋一

会議資料

幹 1-0 プレキャストコンクリート委員会第1回幹事会(議事次第)

幹 1-1 研究委員会・研究課題申込書(平成19年度)

幹 1-2 JCI-TC071A プレキャストコンクリート製品の設計と利用研究委員会(名簿)

幹 1-3 プレキャストコンクリート製品の設計と利用研究委員会・委員の公募について(会誌掲載案内)

議事

1. 自己紹介

出席委員各位より自己紹介があり、国府顧問からは、JIS 制定の流れなどについて説明があった。

2. 主旨説明・経緯

万木委員長より、資料(幹 1-1)に基づき委員会設置の主旨・経緯について説明があった。委員会設置の目的は製品の発展・普及であり、活動は総会決議後の5月末から2年間、予算は1年目150万円・2年目200万円、委員会開催は年3回程度、完了時は報告書提出とシンポジウムを開催すること、委員構成は土木・建築・化学・若手をバランスよく配置した20名程度とし、概要を含めた委員構成を6月1日までに本部へ報告しなければならないことについて説明があった。

3. 打合せ・確認項目

(1) 対象とするプレキャストコンクリート製品

製品の種類は多岐にわたっている。土木分野ではJIS 制定品から橋桁などのようなPC部材までがあり、工場出荷時でRC製品でも、現場ではPC組立てにより最終的にはPC部材となるような場合がある。建築分野では、ほかにJASS記載のものや国土交通大臣が認定するものなどがあり、種類・区分を明確に整理する必要がある。その他の課題としては、組立て・接合をどのように考えるか、工場・ゼネコン・設計コンサルなどの関係・しくみの問題、性能規定化や製品の保証、大規模工場から小規模工場がある中での技術レベル向上・資格制度の問題などがある。

現時点では、工場製品を対象とし、サイト製造品等は除いて考えることとするが、現状における問題点や課題を整理する必要がある、これらについては国府顧問と中田委員がそれぞれの立場で整理してメール連絡することとした。

(2) 作業部会(WG)

作業部会は次の幹事会およびWG構成とする。

幹事会:万木委員長、国府顧問、北辻、月永、中田、森田(追加)

幹事会のほか、各WGの分野の専門家等1名を加えた連絡調整会議とする部門を設けることも考える。

設計方法WG(組立・接合法を含む)/主査:久田、副査?:森田

高機能PC製品WG/主査:中田

技術者養成WG/主査:月永

リサイクル材等利用WG/主査:北辻

委員構成については6月1日までの本部報告に間に合うように、中田が建築分野の委員を選出することとし、北辻と中田が委員構成を計画してメール審議を行い、本人確認後に決定することとした。

(3) 設計WGに関し、JIS協議会との関係

設計WGにおいては、組立て・接合の問題を含めることとした。

(4) 全体スケジュール

全体委員会として年3回程度、幹事会は随時開催する。

(5) その他

次回幹事会は、6月18日(月)15:00~17:00 JCI 会議室において開催予定とする。(月永欠席予定)

以上